大八錄 乙

特別
15
1902
1

四聖不老丹

松脂透明者一斤四兩。以無灰酒砂鍋內。柔柴火煮數沸。竹杖攪粘。住火。以磁器盛水。傾入水內。結塊又復以水煮之九遍。一日煮訖。次日亦如是。如此者三日。通二十七遍。其脂瑩然如玉。嘗之不苦不澁。乃止為細末。淨用十兩。凡煮脂不宜酒少。少則易乾焦。煮之三分之一。就可傾入水。

壬子閏五月十八日杉山東蕃拜

丈母傳製如此一器來歸。即為煮之。醫者入門未必得目出云

15
1902
1

54-102

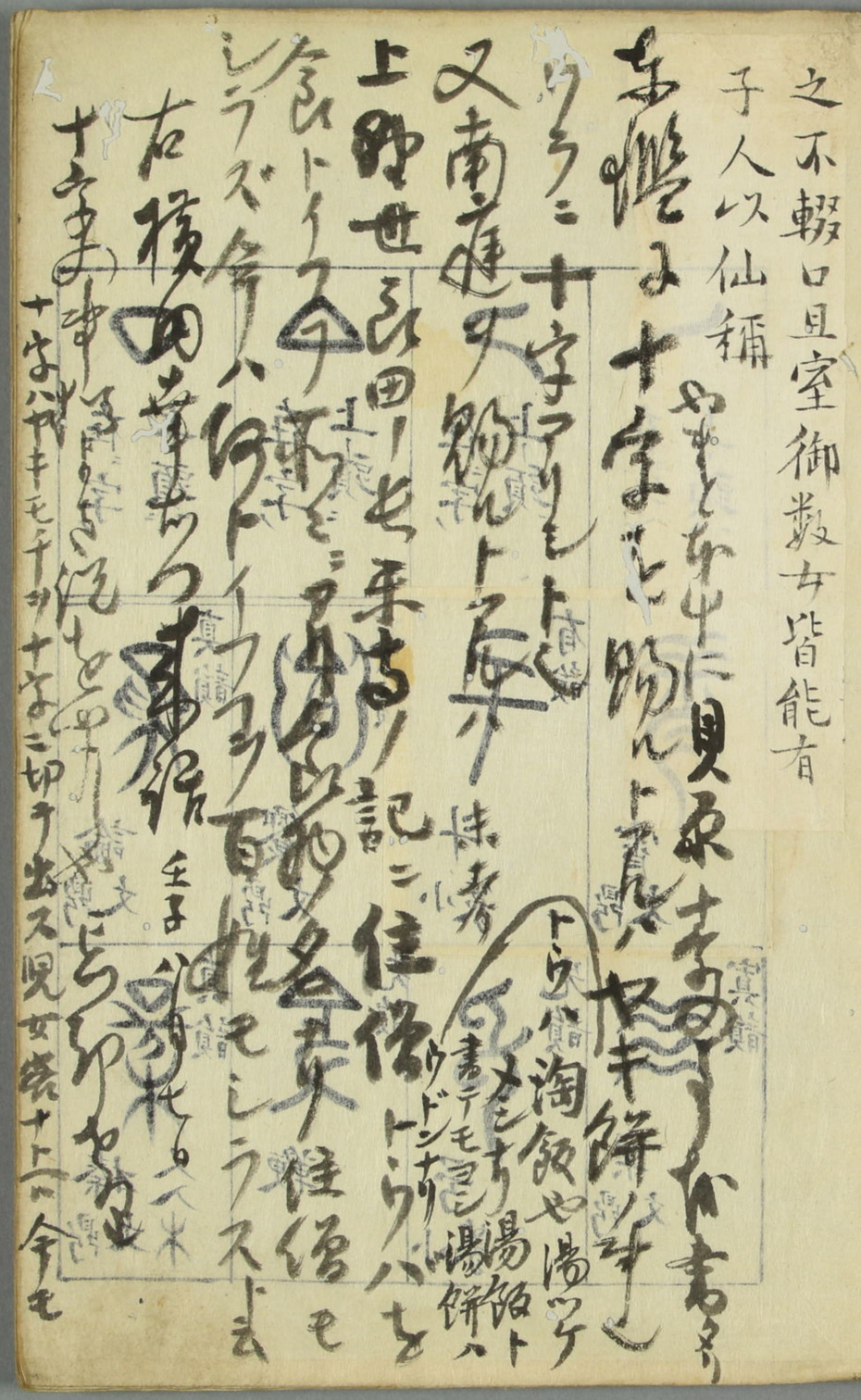
白茯苓 去皮 淨　黄菊花 家種味甘者。去梗蕊淨

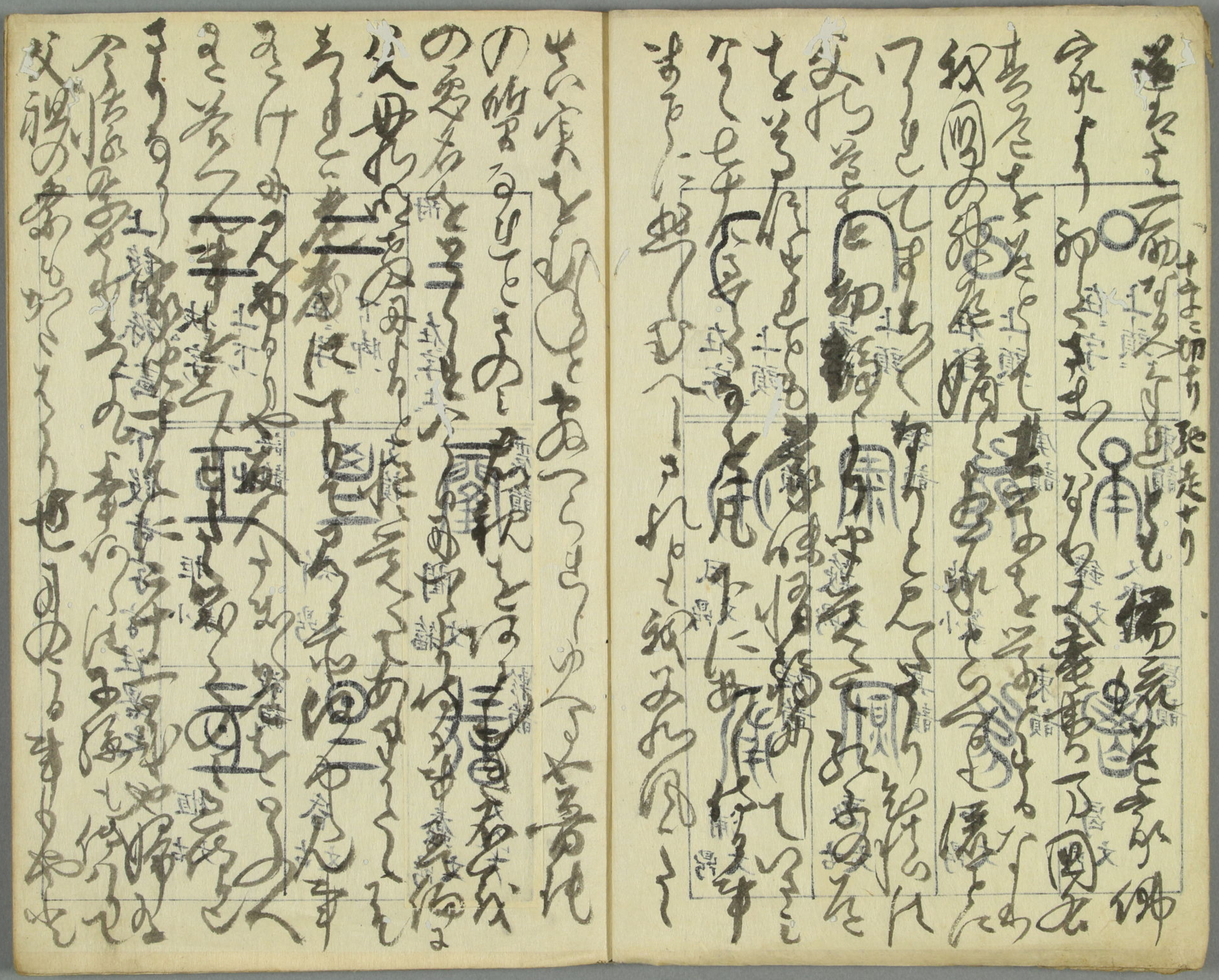
栢子仁 去殼紙裹槌去油 淨 各八兩

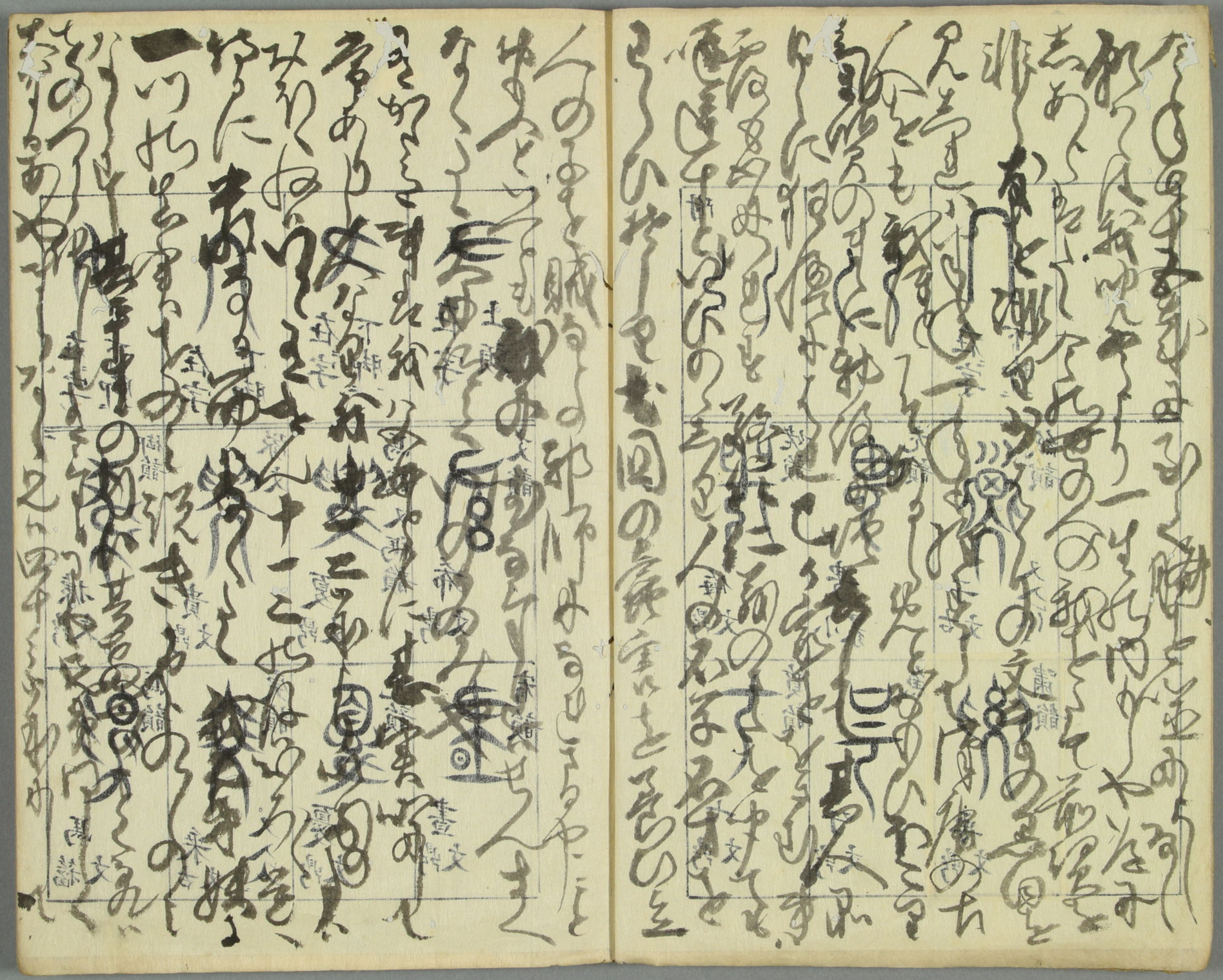
右為細末煉蜜丸桐子大每服七十五丸清晨好酒下修合時必擇天醫黄道吉星毋令婦人雞犬見之服藥亦擇吉日此方雲陽王都憲五一翁所傳此翁服之八十有六行步不節不人而談論亹亹飲酒可百戔盞飯數碗羞饌果盒盡其席遍嘗

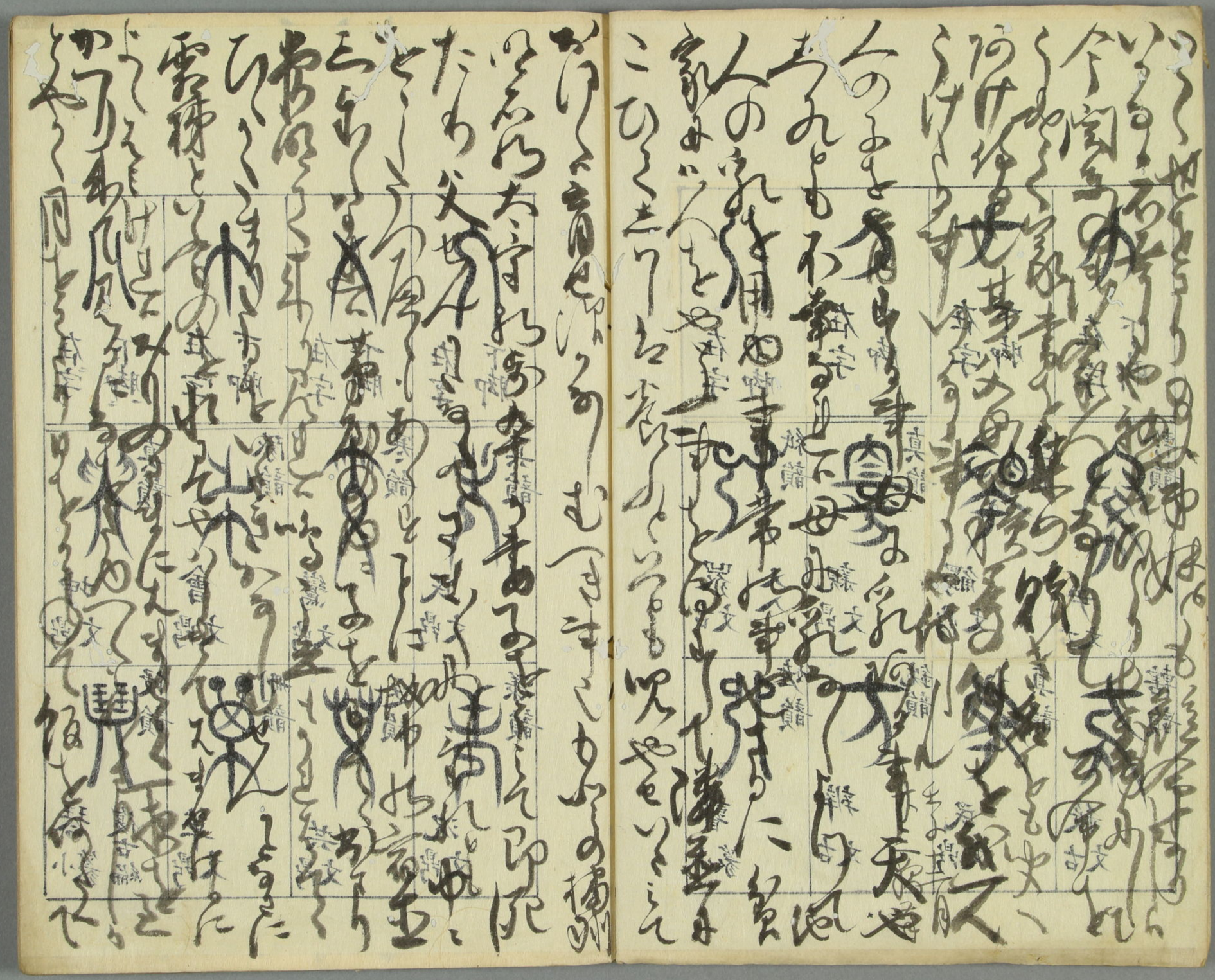
東養別に出ス事ヲ書テ殘ス事ニ相違如ス十二月ト云本艸入門ト共ニ校合シ了ル

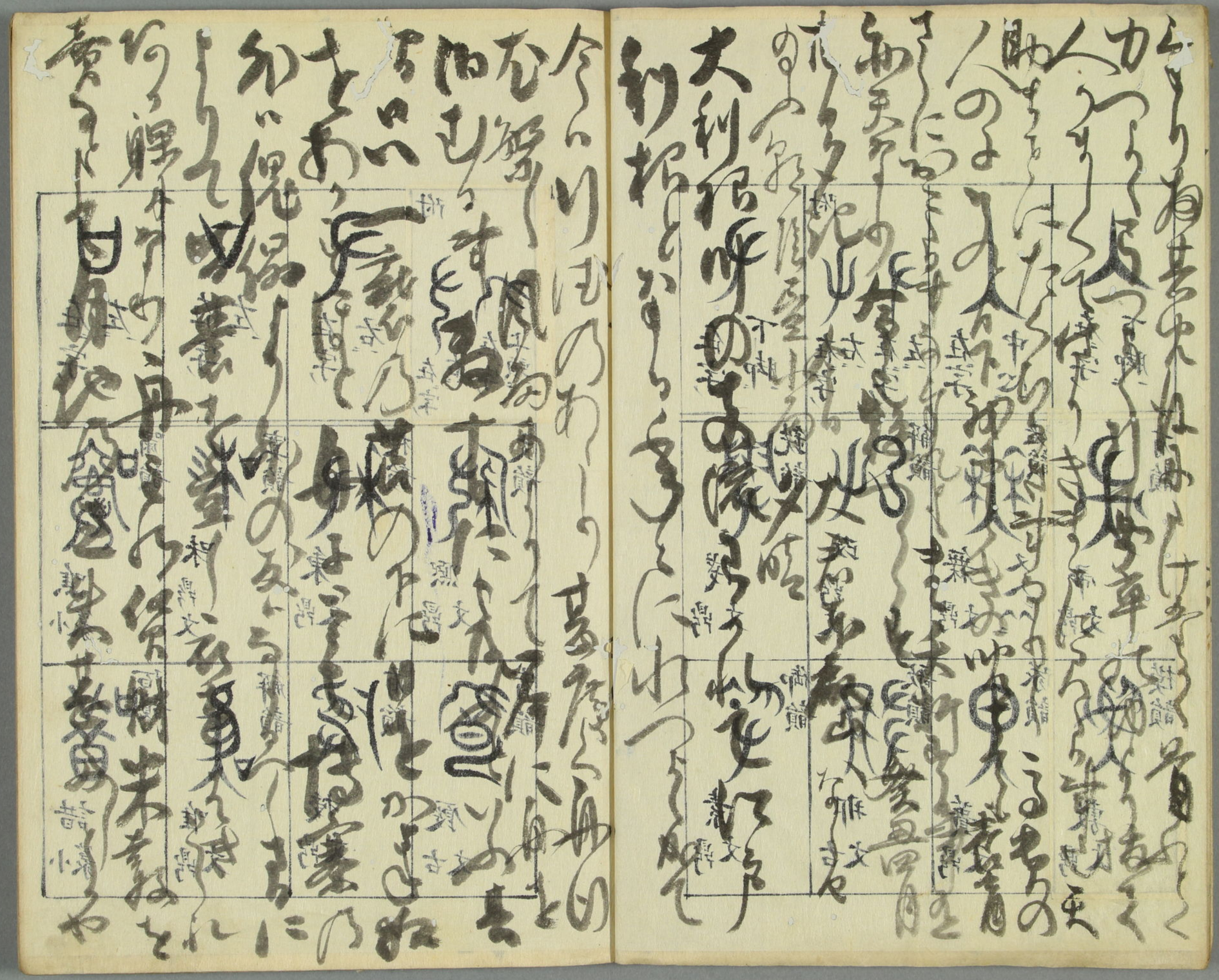
之不輟口且室御數女皆能有子人以仙稱

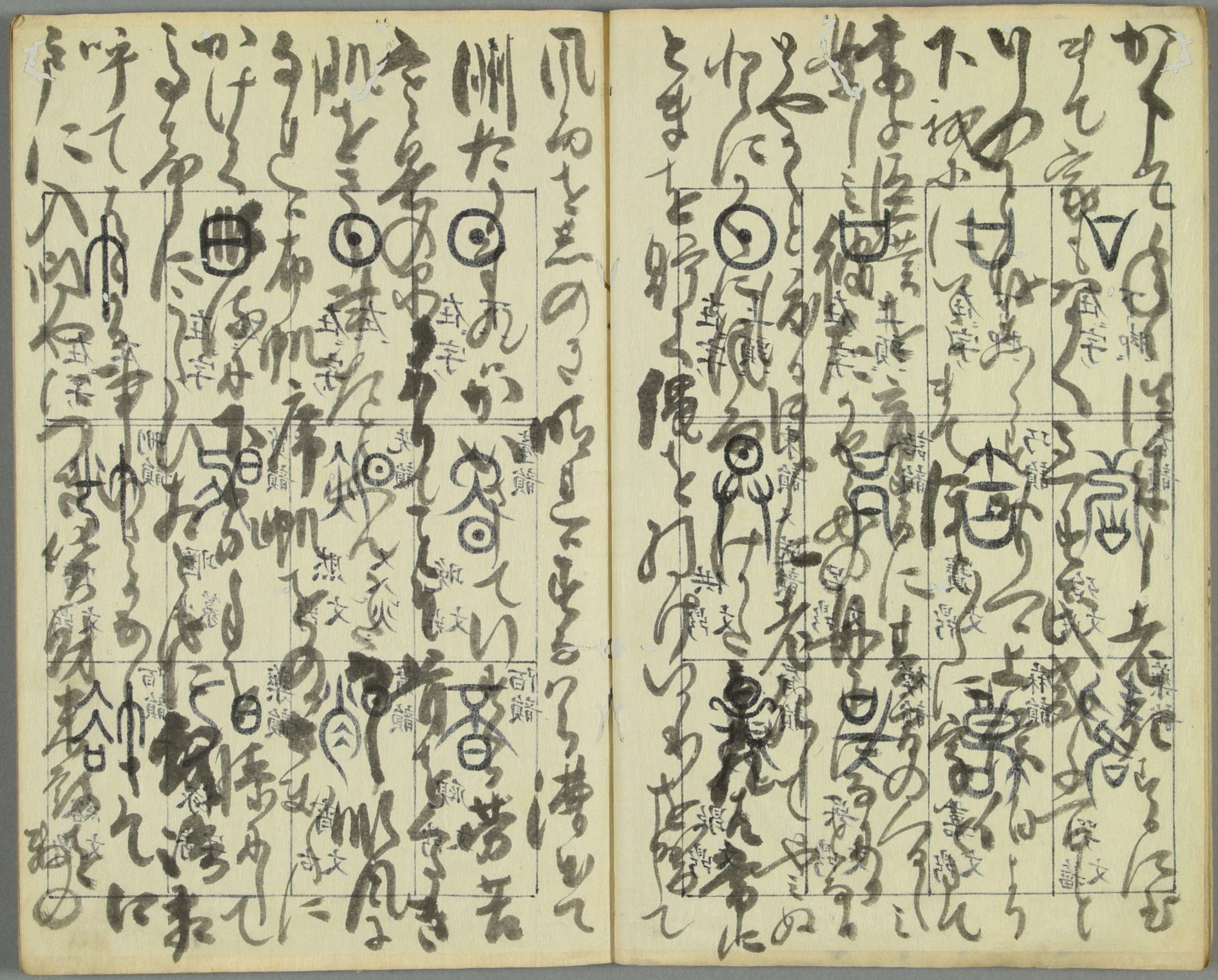


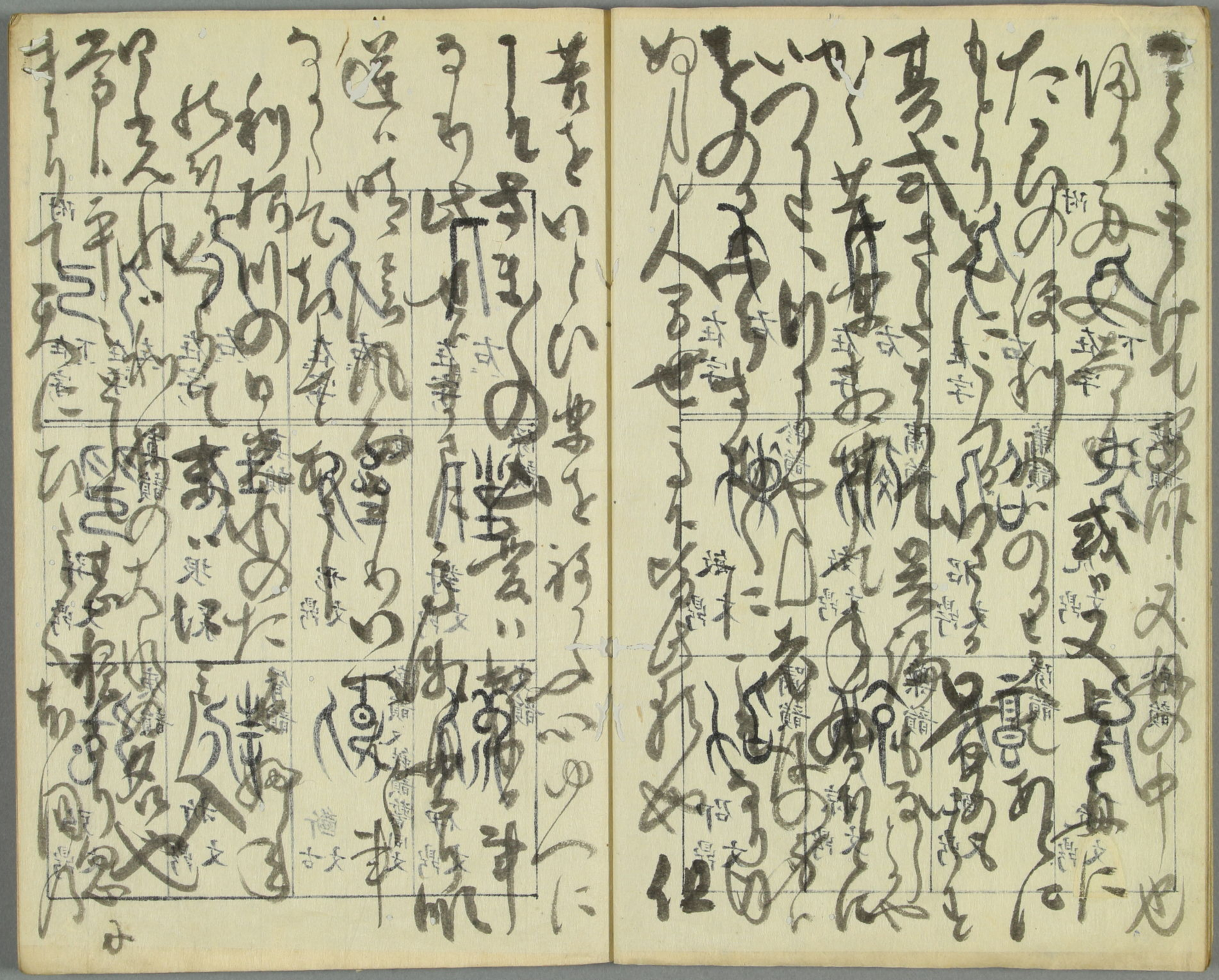


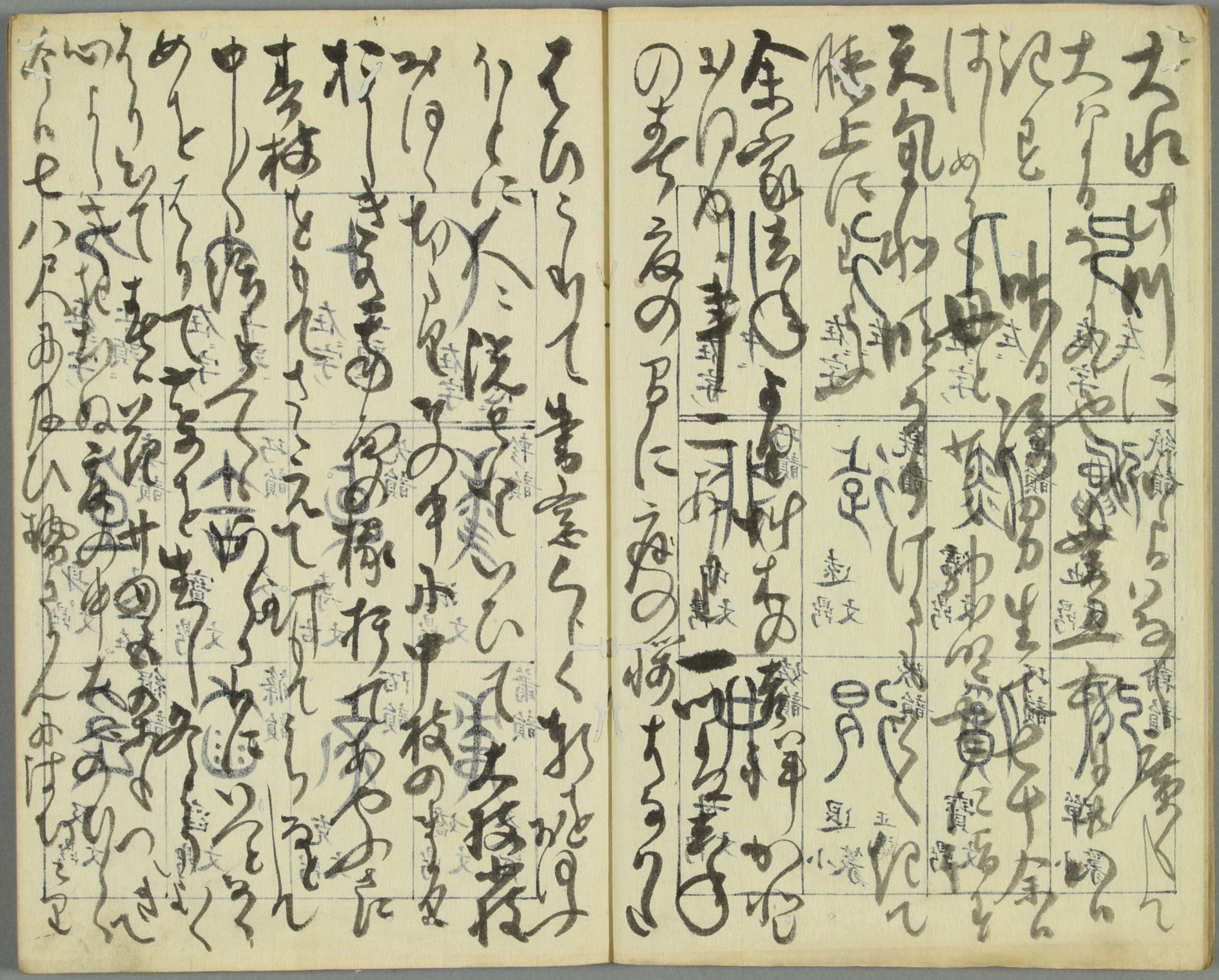


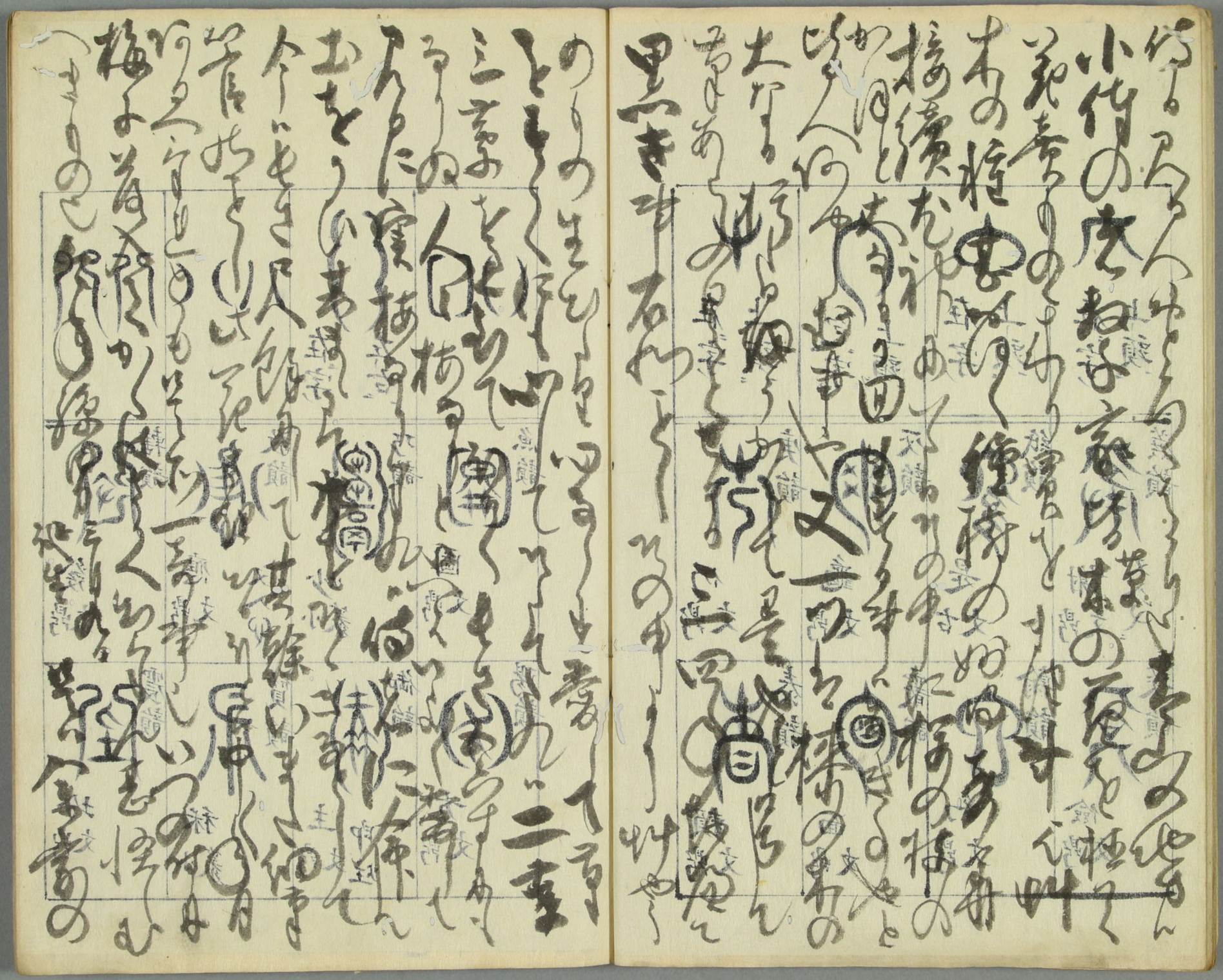


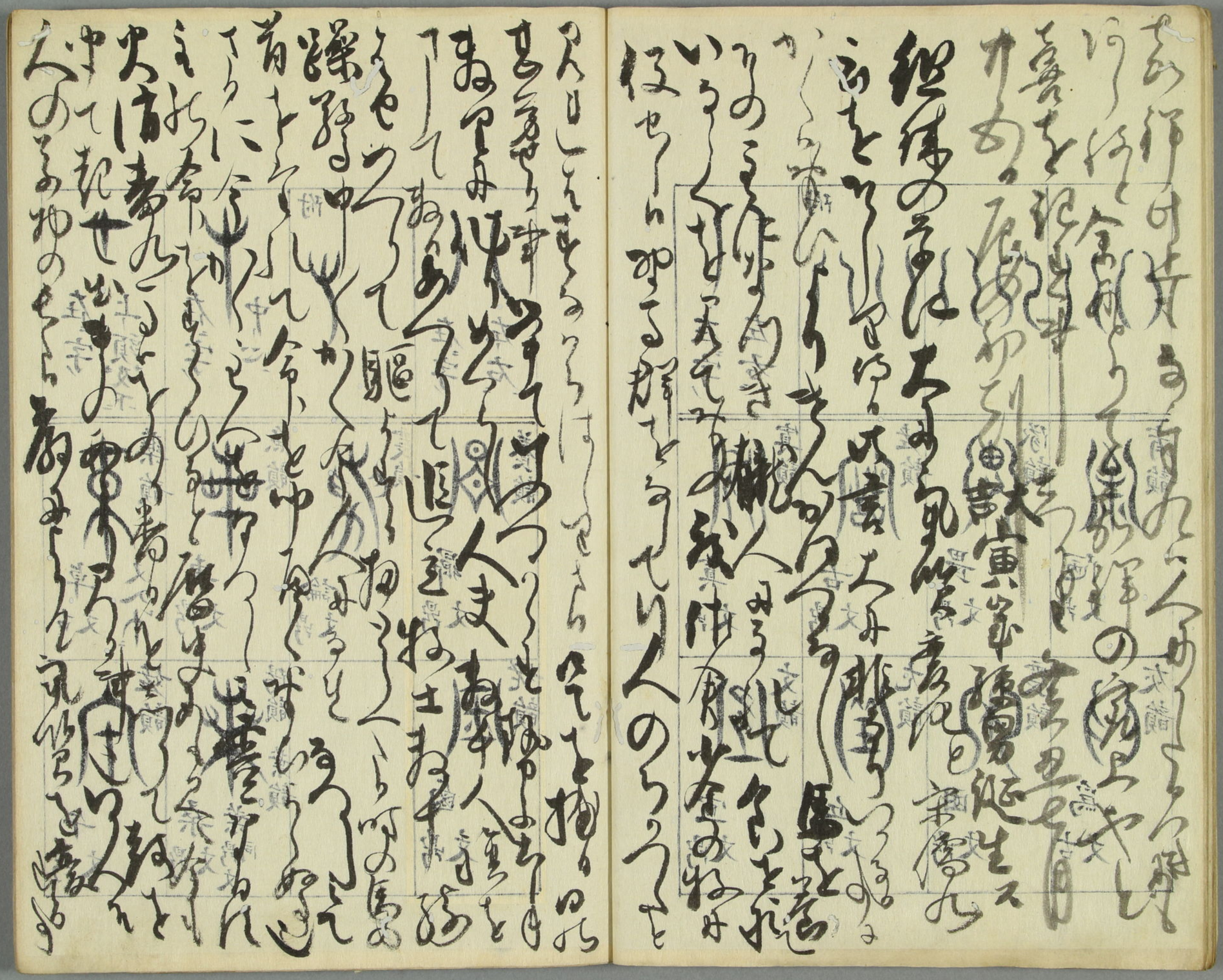












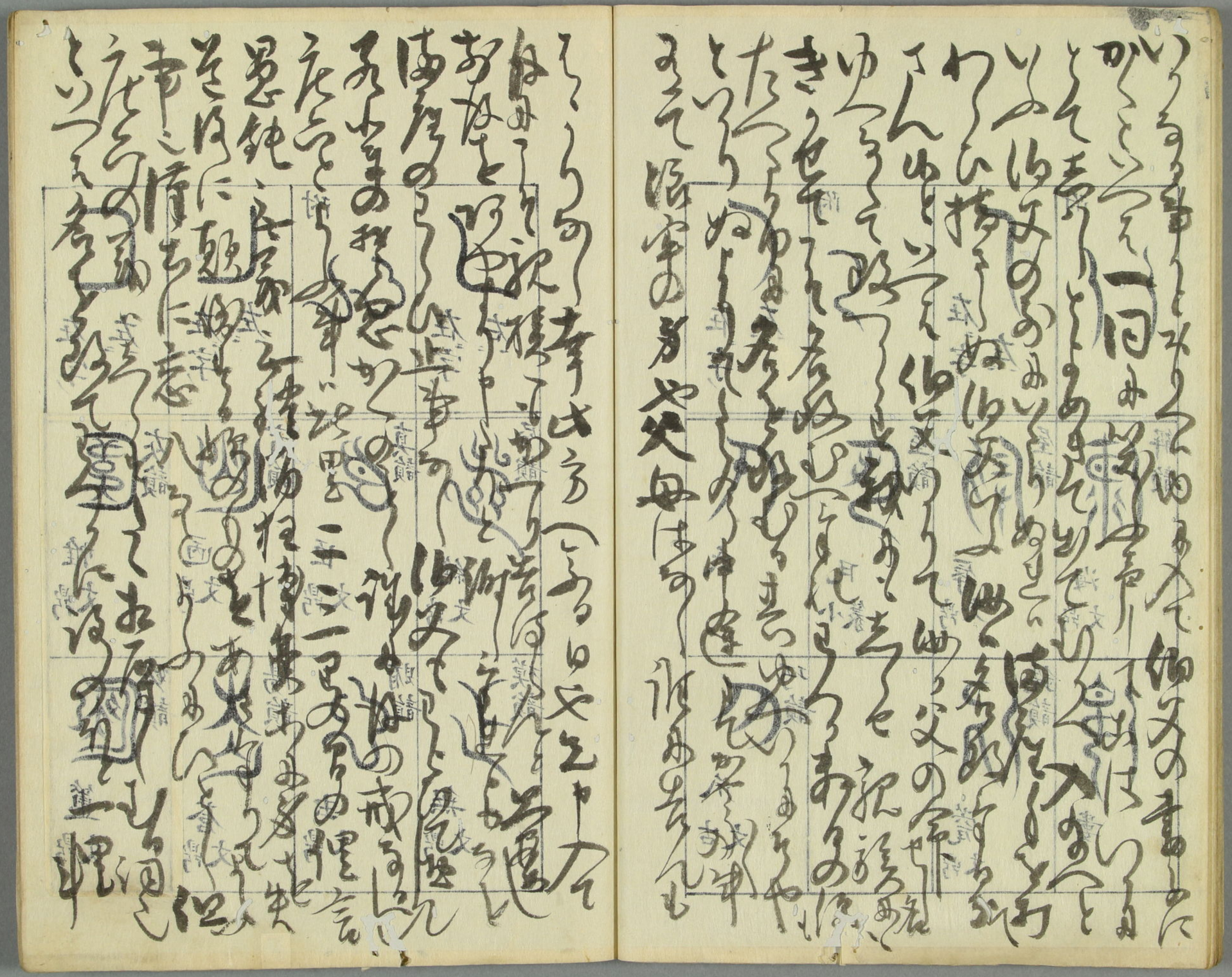
かくいみまえへのさえしうまろめりすすむと
細かくて拵で西継を細でしまらん
いろいろしきめ或ある緒をあ諸せん
とまりくまれしあらやさへまそよりかそ
名をとれしめ舟めやらゆきねみ甚浅月
まだあらるんみゆ四りゆあ帝
寒れ音酒をとめて程ひきまよりて留
いつまでも何ともしろく人の見る有しき
物みせ字にやあり家内をとやら
に若衆をかえて多功何となりけり
芸をはこえとそそい甚功ととるたゝ

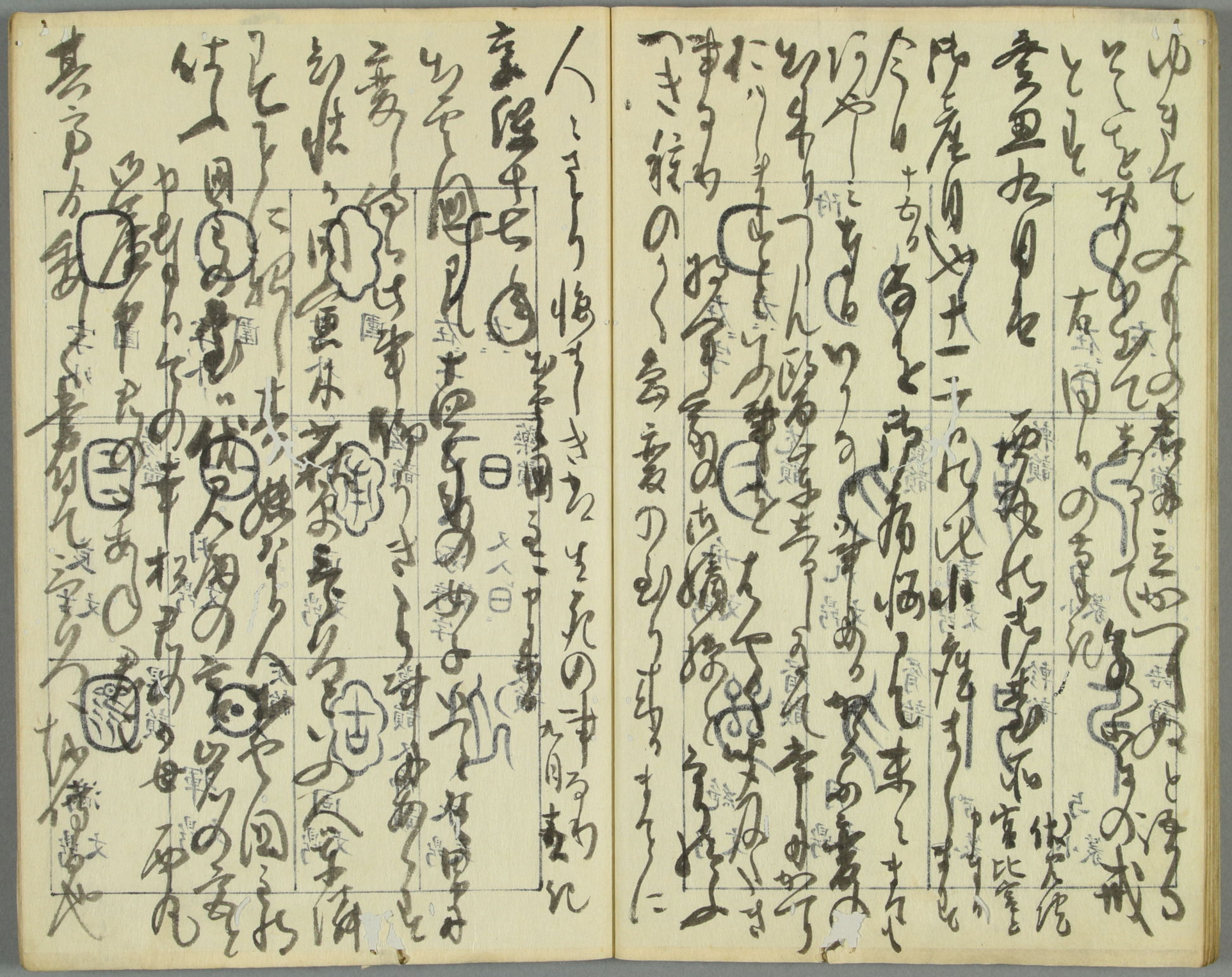
身のけさしまりとまゆうしい同りけい祥し
婦くまて さしてこたちまる人寿せとから
魚い大や太のやけ談人のまとりしさ申
甚多りとり酒まさ聲り付りのあ筆とと
うちのいきとこと何もさへんてまそと
やう年針要とん旅をとらさまとさて
時く甚害詩とおこまのもさらたかりて
路家の上かきうせ左酒甚人の陽無為
存せられて寄ともすとも付も壽
筆剣気も壮者もとを奴大人小
吹人の彊殊なし酒飲み寛き言俳

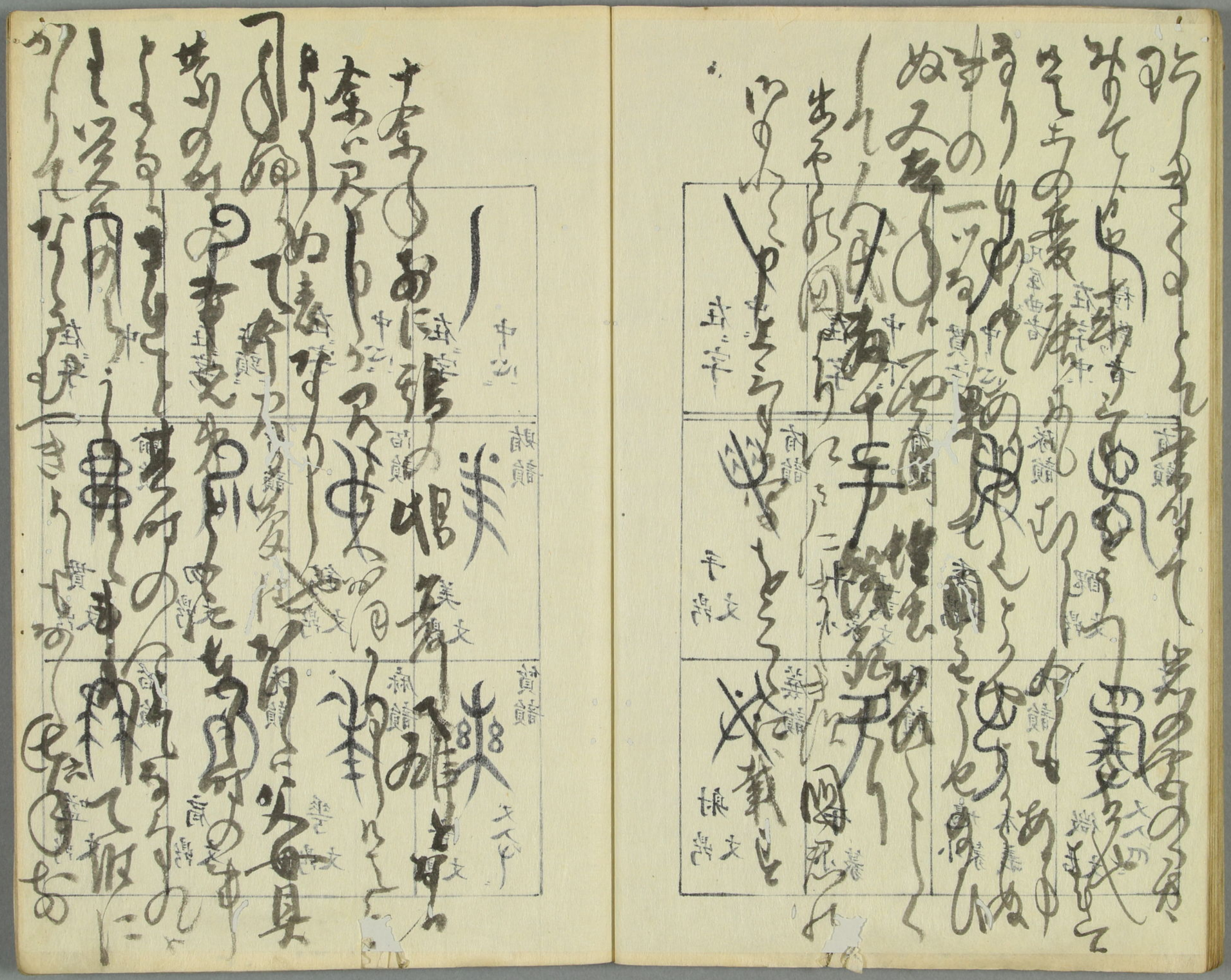
こゝをゆるも理くの勇心たなゆなる中にと
きうゝみ陽に茶て口の鄭とこに奴の
他味なすらもみ理くて民多みこもとも何とも
いゝも口の歓のうたの苗ゆへそとゝめのし
婦りく宴ちゝ主尭ち寺礼戒めて律あ
九文戒の津くとも中四表え杖
とられ四より四のなりよ中四表え杖
事菁るしいへすみや祝の害を
ね世大戸よりね多くとすよう人の綾多に
よりてわ偏を自して杯もかり
きゝめもあゝとつく庸人み天
比の極上戸ゑりしかかりつらきん
　　　　　　　　　　　　　　　　　　ね
随筆うちきゆへに杯あねでよしれて御て酒く
の三旨陽の遊猫にきてうろしれ杯ねつきまく
おそ事もろゆくとる陽しよ宴の西ねみつて
信ちゆへ信にみ杯まおまれてうりぬ
太帥も出でも紹も下邸も交てらく人
大戸あゝ付は杯あるもきとれ
これ大人せまゝと七ゝへ杯ねとも猶を
下戸は只三人の琢も杯をようかすみ
皆たなら也りそ琢のまり偏ものはく
文人日は大下戸のもやびの鳥とら
又いわ飲の卯也ふそ
たらひみえみて月て杯ますもとも

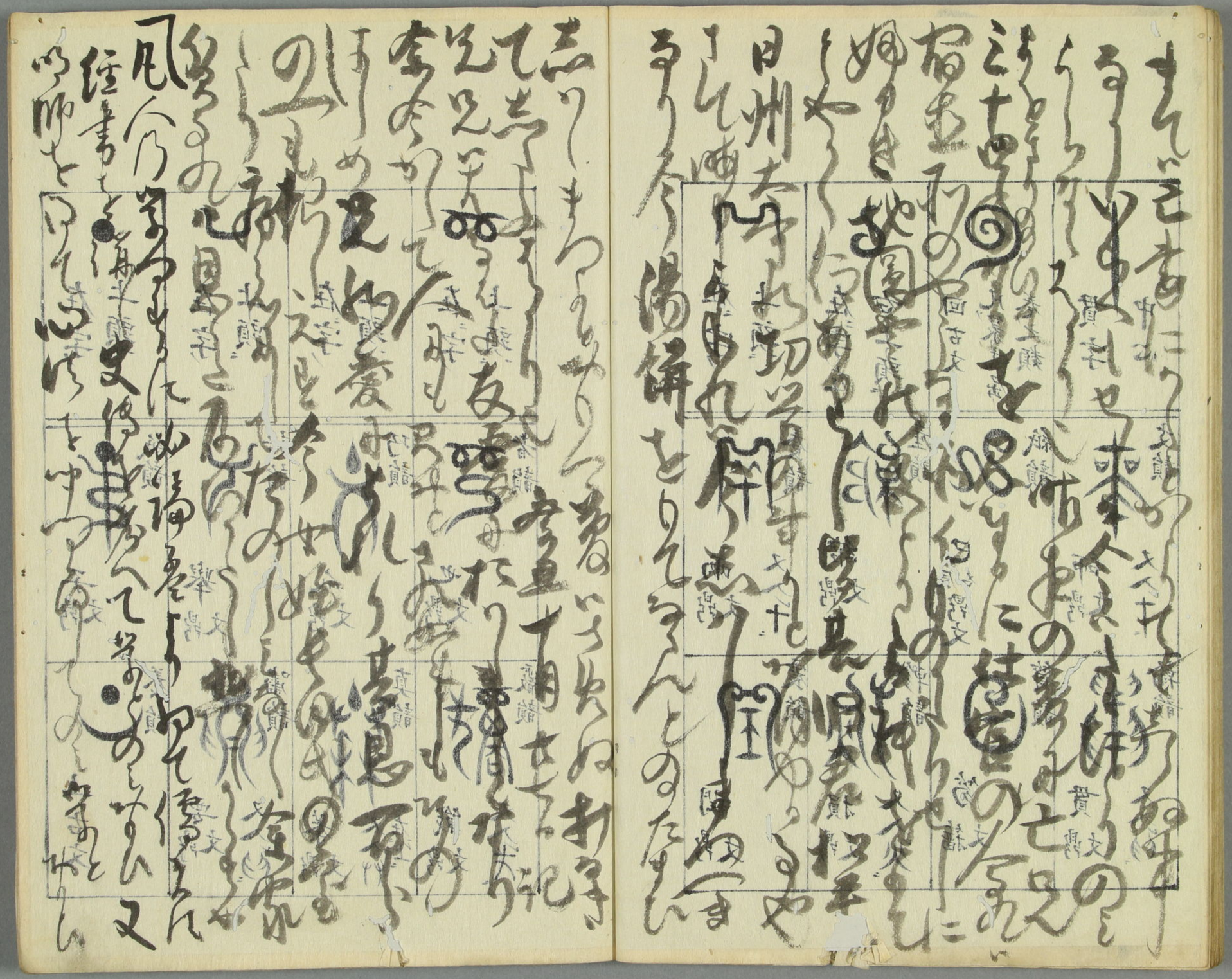
口錦と興ある事もろもろかの人
大般若かりしと書ひ常陸で
悔手なりもつれし綱茶乃
孝もあらへそのまへでけいる
藤原経朝梅柳をものとの
なみ出てあの甚苦しきなれ
此月ともひ足すと申され
みかくのもしと畢竟信仰の
みれをつもくあかれあるき
陰なるあつかし
祭主九月中旬記

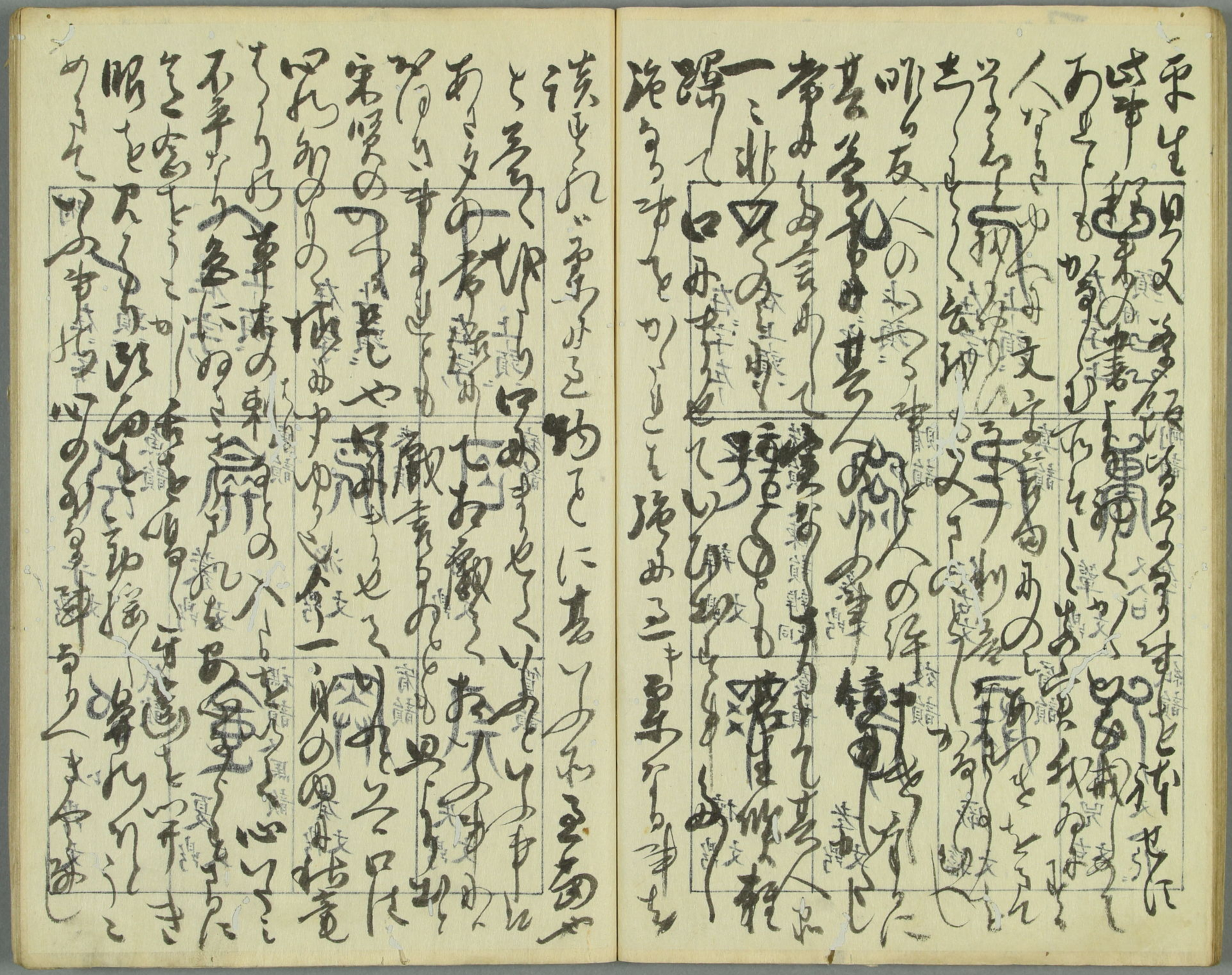
我柳翁は作る白猿家の友人かくらて曰く其
人猿猴の折られに伯父家あまたあり付
ありし作しけ河のおのれ
をすきの庄に大つかの森の
法人ろ長門に君をも述て
今年は庵のかりくらうやへしく流
後に春てくりかつて居たりつく
唱へもしをとしてぬの五郎大にてこも
若くにきたりて一調子出して下に
もをりそ書す伊勢平かりしをとて
いやしきからぬるやうにいらぬかなと
畔上太夫かけて口上をきて鉄ひ又ぬ





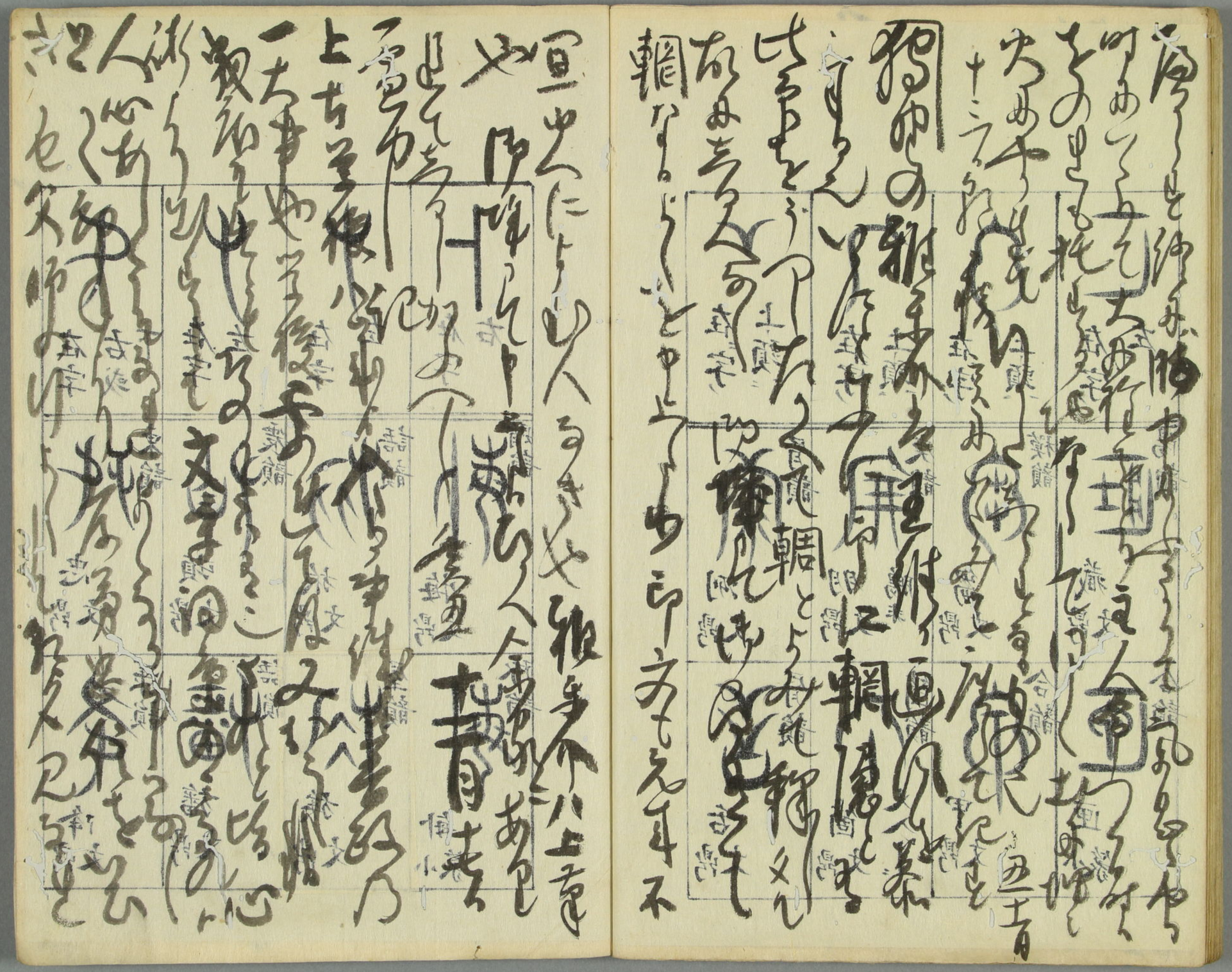


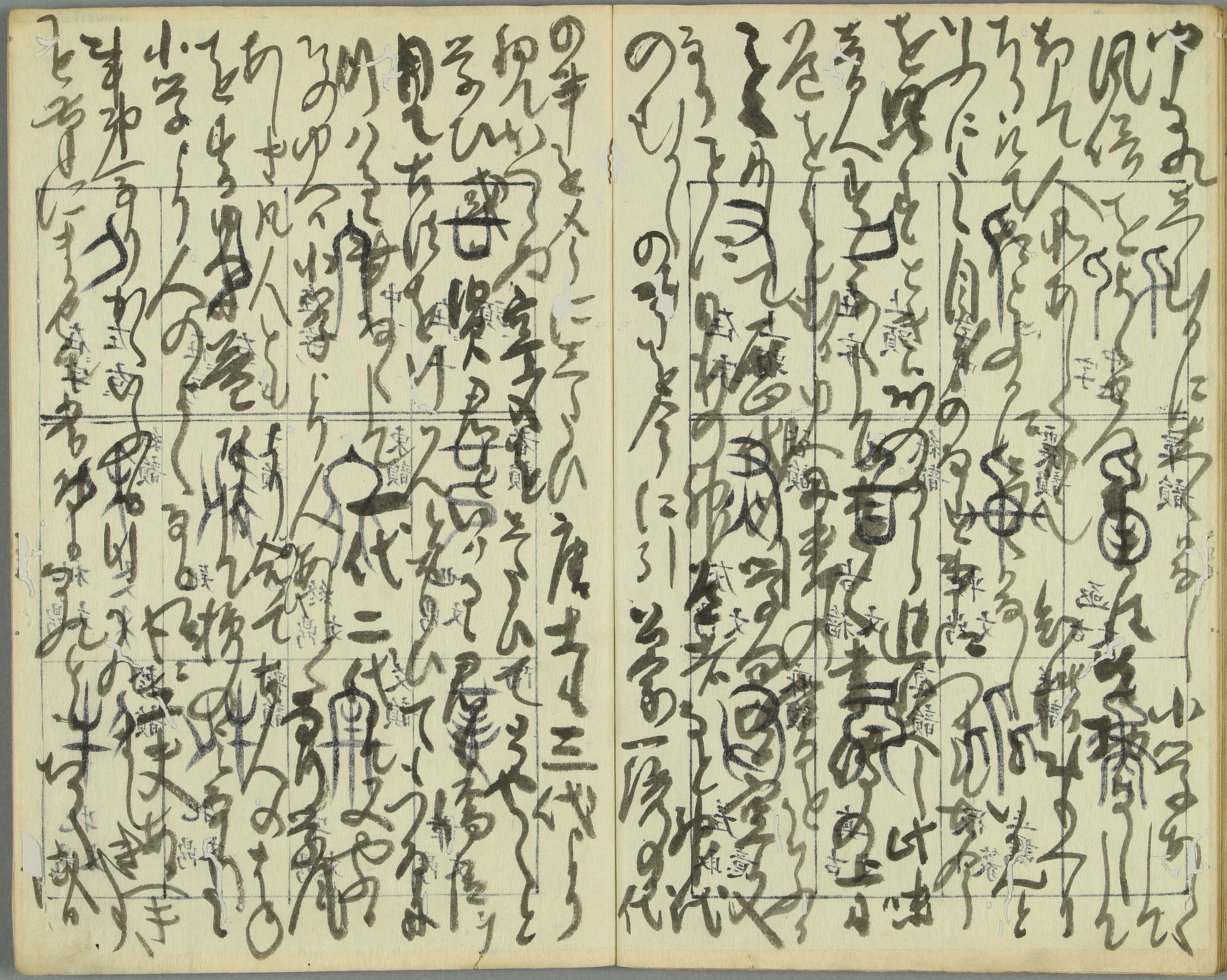


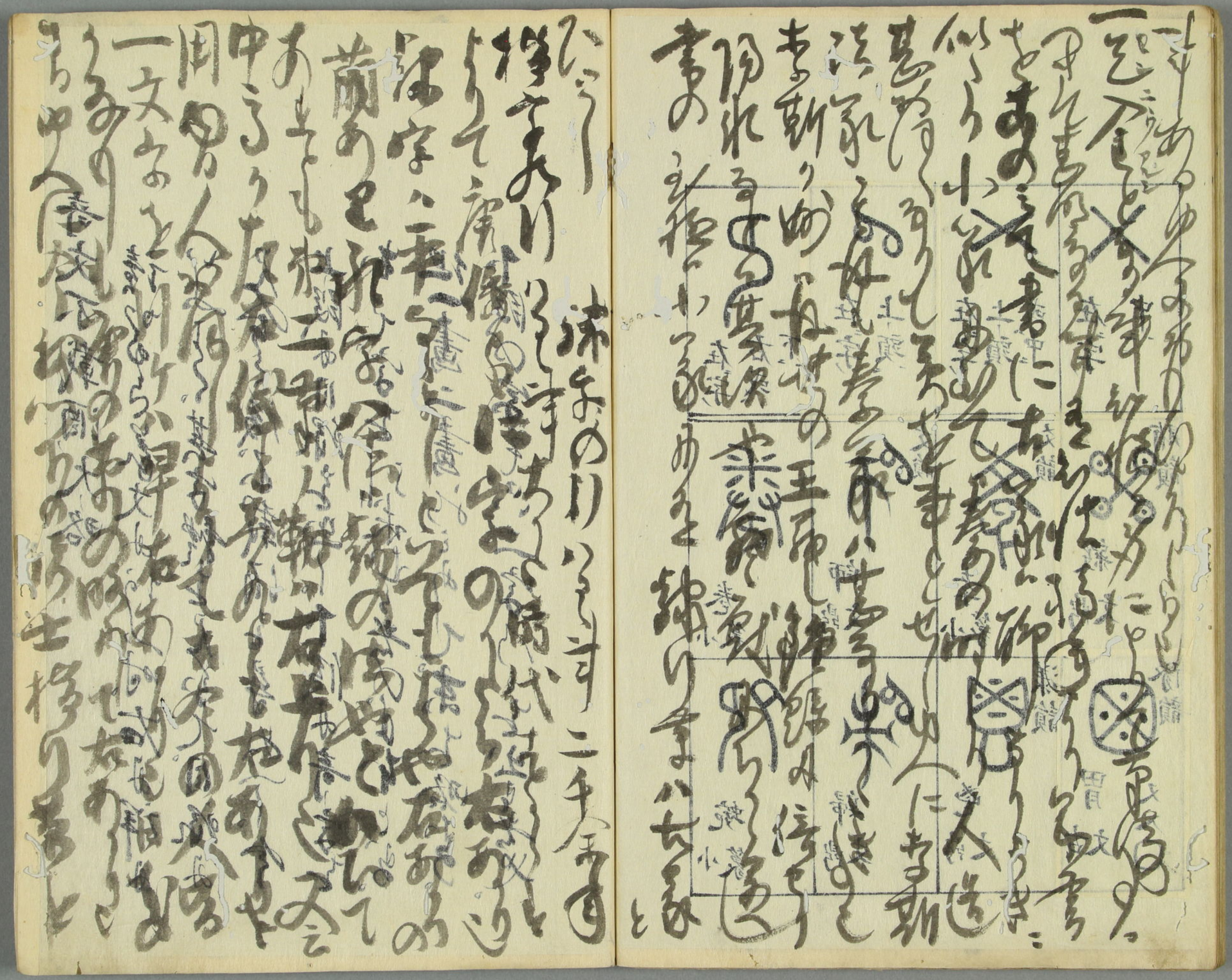


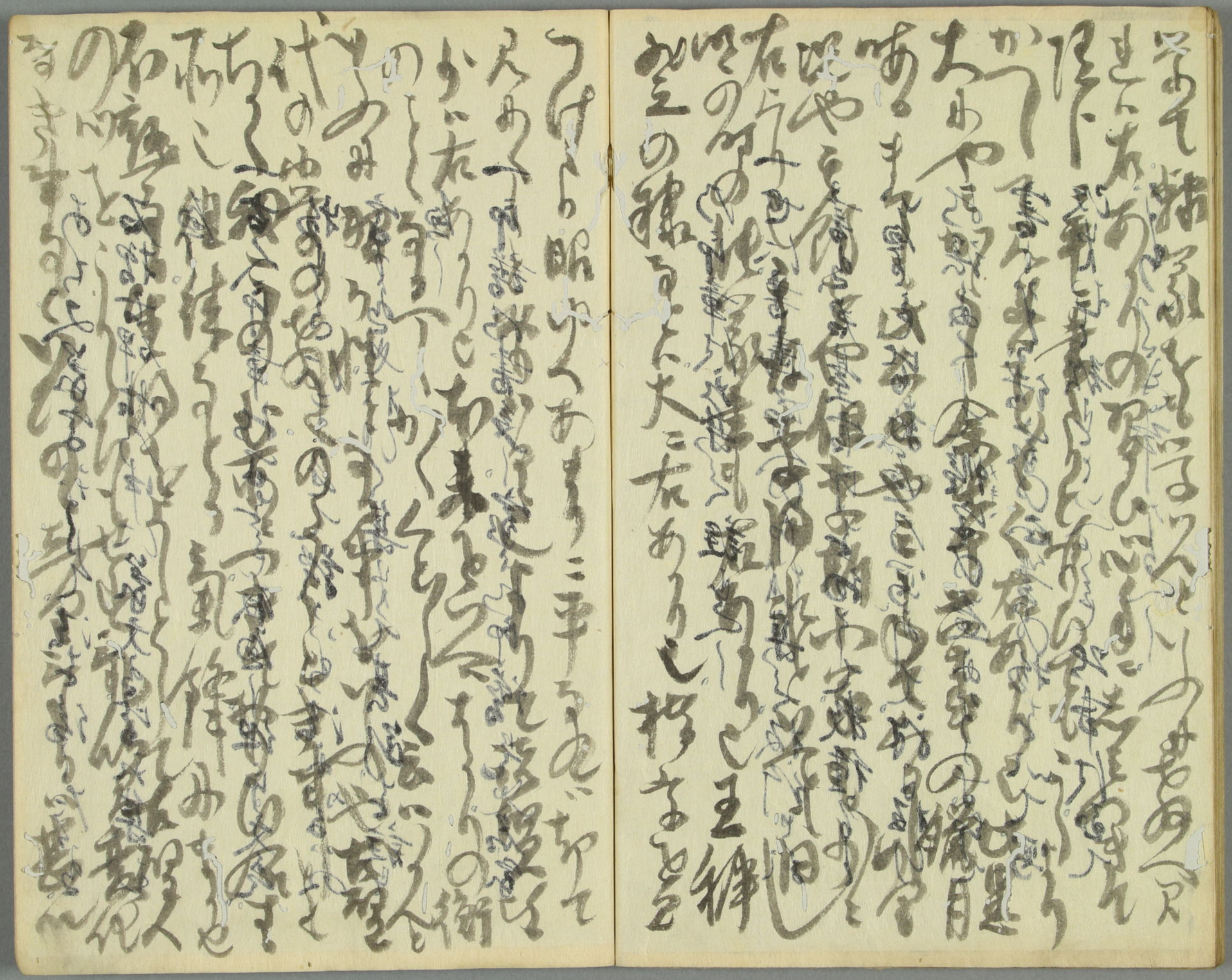
小児とりつゝしくしてすめらりもし
成とも思ひと云事とてすらひ中々も
まへりしま宮のしをすこしやうもまち
はめまりやりすめまた言ふ今ありもせくと
まいれあらき本々人のまへみれとも
あしき近寄好み修めのせとして
ましへとのまうして庄よりまき宮とも渡しみ
杯酒つくしるてゐるのまゐやうくは難みあられ
迎てきとゆるのちもとうすすあるまされい
又耳あひきあめきあくら人のきつ
いましめく四肢にみるみかう
かく日足まぬ大たしりやゆめらきとまの

へきやすつり下すくのはめ事とも
中せのもうもしきもの
心書れ平明まりも高きくし
下なりむしめ十日のれ命中
是まりやゝるまりまく猛の藤人会あ
於福しも御遊のまうそ其所のかしもちふけ
天小四あて常人書を無上之用事
かうり成士人事名跡
いるゝおりのと常にさきれ書年事生れに
あしきあをしてろれもくろなりけさりとも
まりきへ之あやか感るからゝし
波まて万事すうん









[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

絵馬の尾形と道鐵あれ道[illegible]あれた

こまで十の[illegible]の縁や山伏[illegible]文女

[illegible]小[illegible]とよに一人

[illegible]

[illegible]の年[illegible]名の人の[illegible]

さと[illegible]

や[illegible]

金道一人[illegible]とこし[illegible]云

[illegible]の[illegible]

目あしよ月を女あまり[illegible]やと

[illegible]

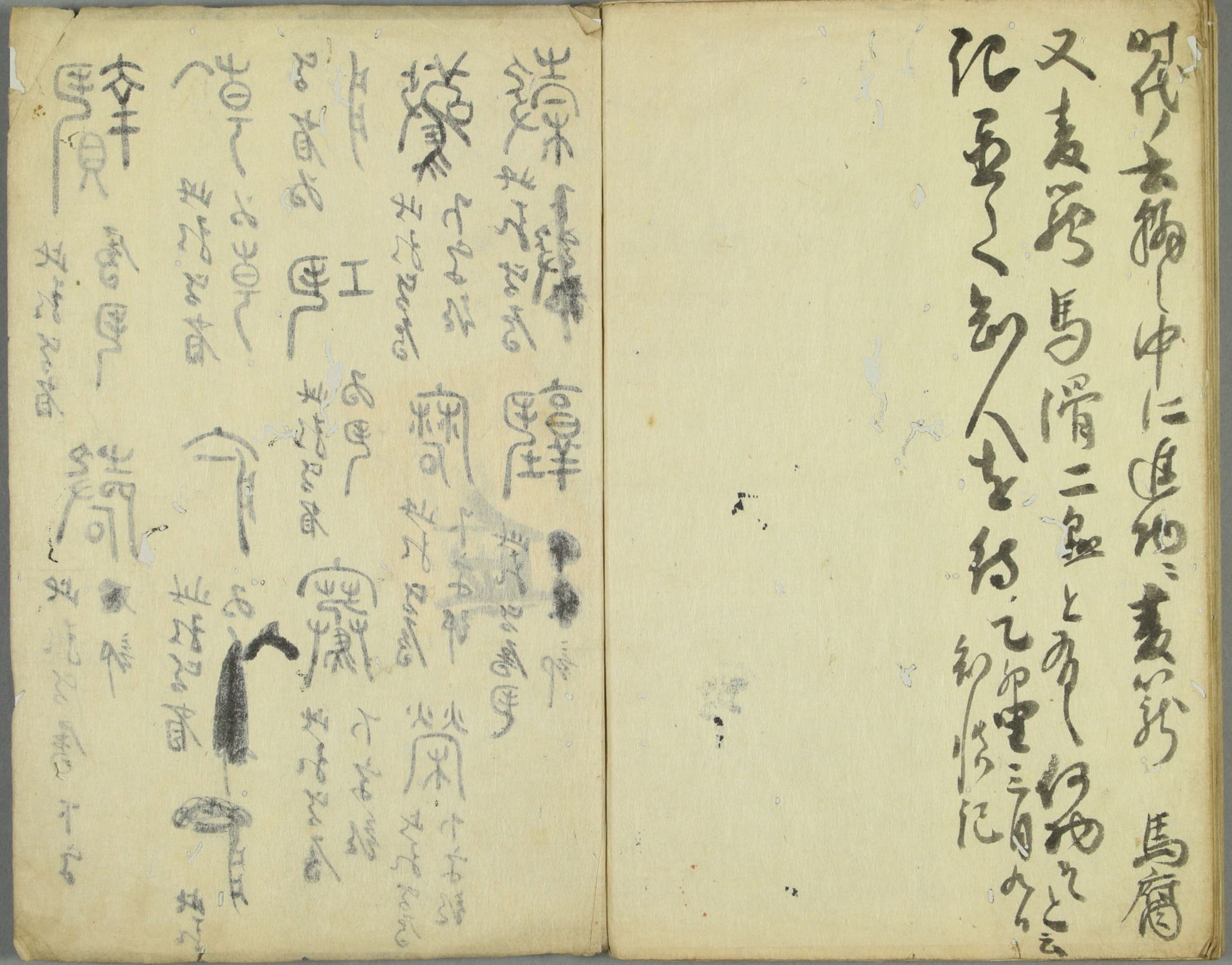
具書一筆しめしまいらせ候[illegible]のや
婦嫁蓮露[illegible]ると
り[illegible]二[illegible]
臨[illegible]
以[illegible]

同 まことやすゑの[illegible]女御佳言
あでられを[illegible]御縁の[illegible]
をさなく[illegible]
おちこちはいまや[illegible]
なく[illegible]のいとさみ

ちかゆう[illegible]とみゆ[illegible]大き
をしてあるちやうの[illegible]しためし[illegible]
[illegible]
[illegible]
ちりみ[illegible]
だ[illegible]の[illegible]
[illegible]みやこの[illegible]
[illegible]
[illegible]
同 御婚礼[illegible]の[illegible]

ゆくへしてめくりて　あるやぬ松の枝
葉よけ傍みつる　ありて同[illegible]松
しやの関の世本三河の小[illegible]道行
逢の松　十府の菅　たけくまの二木の松　日
山人けの山[illegible]しやあかの関の[illegible]の[illegible]　小
野[illegible]の小石[illegible]みの小塚の松の枝葉
ありその中に[illegible]一本の松の根[illegible]を[illegible]せてと
一堤[illegible]ほ[illegible]め一夜[illegible]に若緑の松の[illegible]枯
枝[illegible]きろく[illegible]ひて[illegible]葉末[illegible]ぬ筆の[illegible]图
[illegible]て[illegible]一[illegible]と[illegible]して[illegible]
世の[illegible]か[illegible]　[illegible]松の[illegible]　[illegible]一[illegible]松の枝

の前をとりそ　取みゆり　仙[illegible]みなるらしを
筆をとり[illegible]あおのも[illegible]れしを
うしやとて[illegible]も取めぬ[illegible]とそ[illegible]
一[illegible]のこも　[illegible]雅[illegible]きり[illegible]二つみ
切合とこのくれ[illegible]女[illegible]の花[illegible]婦[illegible]倫
中めえし　[illegible]の[illegible]の[illegible]蓬[illegible]寿
つくも[illegible]　松[illegible]松のつゝ[illegible]
あ[illegible]思を[illegible]た[illegible]唐[illegible]の
其[illegible]けん　よ代のまつ松やる
かしま[illegible]　甲[illegible]第二月廿一日に
[illegible]のわらの[illegible]　[illegible]す

豊前の田村の墟の町に[illegible]
楽石被書して拙如大石被蓋[illegible]
撲[illegible]て[illegible]字佛去[illegible]
や大友宗麟の時[illegible]廣く今[illegible]ほり出して[illegible]と
云又ハ朝鮮人の軍[illegible]と云此説ハ非今ハ
町中に城[illegible]墓有つけ[illegible]なく云
て掘出し二石甚深く[illegible]と[illegible]
掘出云天下の[illegible]の恒を石[illegible]も
[illegible]新て云[illegible]とて[illegible]に
[illegible]民の[illegible]に[illegible]
一て[illegible]へるといふめしてもし

掘りとって下の人ハ石をひとと[illegible]を
名石[illegible]廣[illegible]中とて[illegible]
[illegible]神[illegible]行[illegible]中に[illegible]
[illegible]
手[illegible]流り[illegible]紀
同[illegible]平[illegible]大[illegible]の
[illegible]
[illegible]商[illegible]しや[illegible]
[illegible]経[illegible]四[illegible]少くん
尾[illegible]あり[illegible]
同[illegible]天文